

倉吉総合計画審議会 第1回福祉教育文化部会 議事要旨

日時：平成28年2月8日午後19:00～21:30

場所：エキパル倉吉 多目的ホール

<次第>

- 1 部会長あいさつ
- 2 協議事項
 - (1) 第11次倉吉総合計画【後期基本計画】(素案)について
 - (2) その他
- 3 閉会

【配布資料】

- 資料1 倉吉市総合計画審議会委員名簿
- 資料2 専門部会別担当職員表
- 資料3 施策別担当課一覧

■協議内容 要旨

基本目標2 いつまでも健やかに過ごせるまち【福祉・健康・人権】

2-1 子どもを産み、育てる喜びを実感できるまちをつくる

施策1 子育て世代の負担軽減など、安心した子育て環境を提供する

委員からの質問・意見など	回答など
・「多くの夫婦が不妊に悩み…」の記載について、「多くの夫婦」の部分は必要ないのでは。不妊について悩んでいる夫婦が存在する現状がある。	・不妊について悩んでいる夫婦が存在する現状があることを受け止めてもらうことが大事。 ・配慮し、文言の修正にて対応する。
・子どもの貧困対策への対応策は考えられているのか。対策が計画の中に見えてこない。	・総合計画には詳細な記載はないが、個別計画にて今後対応していく。 ・総合計画は幅広に記載されている。個別な事業については記載せず、方向性を確認するものとなっている。
・子育てを支援する環境の整備にあたる、ショッピングセンター内の遊戯施設は決定しているのか。その場合、市が管理するものか。	・中心市街地活性化基本計画による取組であり、市の管理施設ではない。民間事業者による運営となる。
・市内宿泊施設の産後ケアサポートの施設とはなにか。旅館等と想像する。	・具体的には、産婦人科を考えていたが、現時点では施設が限られている。 ・倉吉は産科が少なく出産から退院までの期間が短期間になってきている。もう少しゆっくりできる場所がないだろうかという考えのもと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・表記の仕方については検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成の指標として、合計特殊出生率の目標値（平成 32 年）「1.80」の設定の根拠は。現状値「1.75」（平成 25 年度）から 0.05 しかあげられないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度の「1.75」は高いほうであった。公表値は平成 25 年度が最新だが、直近の出生数をみていくと 400 人を下回っており、現在は「1.75」より低い状況にある。 ・倉吉の出産適齢期にあたる世代の女性数と実際の出産数を照らし合わせて考えると、「1.80」という目標値は高めの目標設定だと考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率について、現状と課題の中では、数値の記載はないが平成 26 年度の内容であるのに対し、成果指標では平成 25 年度の数値を使用しているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年夏に進捗管理を行っている。 ・合計特殊出生率は年末頃公表されるため、夏の時点では 2 年前の数字でないと把握できない。 ・進捗管理を行うため夏時点で把握できる数字を使用している。
<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率を高めるためにも子どもを産み育てやすい子育て環境を整えていくことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画を構成する各施策を推進するための個別計画を策定している。その中で細かい分析をしながら有効な手段をとっていくこととなる。

施策 2 出会いの機会を強化し、子どもを持つ喜びを感じられるまちをつくる

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもを持つ」ことに重点が置かれすぎているように読み取れるためもう少し「出会い」に重点を置いてほしい。 ・出会いと子育てを同じ施策にされていることで、子育てに重点が置かれ、子どもができないことが悪いことのように感じてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「方針」、「施策」についての表記もふまえ配慮し、文言の修正にて対応する。

2-2 自分らしくいきいきと過ごせるまちをつくる

施策 3 みんなで支え合い、助け合える環境をつくる

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者の権利擁護の推進について、全国的にも認知症の方に関する虐待事例が発生している状況を踏まえ、認知症の方の権利擁護についてももう少し盛り込んでもいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・権利をしっかりと守ることにより虐待事件などの発生抑制になると考えている。 ・具体的な対応策については県にて実施される対応策の内容を踏まえて検討していく。 ・権利擁護について別途注釈を付け加え、虐待防止について記載する。

施策4 退職後からの活躍による地域の担い手と活力をつくる

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・「施策」の表記について再検討してほしい。 (例 退職後から → 高齢者とするなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・再度検討する。

施策5 高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境をつくる

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方に対する「ライフステージに合わせた支援」や「障害者差別解消法(平成28年4月施行)」の明記はとても良いと思う。実際の支援にも注力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無に関わらず自立して共生社会を構築していく中では、合理的配慮が求められる。 ・対応要領を作成し具体的な取組を実施していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会参加への支援として、就労前教育の充実に向けて就労レベルをしっかりと確認可能な仕組や施設などが必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、就労レベルをしっかりと確認可能な仕組や施設などについて検討していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・就労者の受け入れ企業や事業者への手話通訳の派遣など支援制度はあるのか。 ・就労者の受け入れ先である企業や事業者への意識改革への取組も同時に行っていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳の派遣などは実際行っている。 ・一般企業に対しての支援については今後も考えていくべきところ。
<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成の指標として、健診受診率があげられているが、現状値の16.7%について説明してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状値の16.7%という数値は各種がんの検診の受診率となっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標として、「救急救命講習の受講者数」があげられているが、この講習の受講対象者がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命講習の受講者は消防団員のみ。 ・消防団員が対象とわかるよう「指標の説明」に明記する。

施策6 社会保障制度を適正に運用する

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・医療費の抑制について、具体的な内容を盛り込んでどうか。 (例 ジェネリック医薬品など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費適正化について、一番の医療費抑制は、みなさんに健康に過ごしていただくこと。 ・具体的な内容は全て書ききれないため、このような記載としたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・困窮者の早期把握に向けた地域ネットワークの構築について、自治公民館と連携を図るなど具体的に表記してもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館のほかにも、民生委員、福祉協力員などさまざまな機関に関わっていただいている。 ・自治公民館と連携なども視野に入れたうえで集約した表記として、「地域ネットワークの構築」としている。

<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成の指標として、国民健康保険事業特別会計の実質単年度収支の現状値、目標値について、詳しく教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、支出が収入を上回りマイナス23,462千円（平成26年度）となっている。このため、支出と収入のバランスが整っている±0を目標値とした。
---	---

2-3 だれもが健康で安心して暮らせるまちをつくる

施策7 一人ひとりのライフサイクルに応じた健康づくりを進める

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・施策5では健診受診率は16.7%となっているが、こちらの指標では、72.1%となっているのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・72.1%という数字は市民意識調査によって把握した数字である。 ・この中にはがん検診に限らず、職場の健康診断も含まれている。

施策8 さらに充実した医療体制を構築する

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科医院数が、出産予定の産婦人科医院の利用希望者数に比べて大きく不足している。もう少し対策が必要に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関へ直接働きかけることに対するハードルは高いが、違う形での対策は今後も検討を続けていく。 ・現状と課題の中に産婦人科の現状についてもふれるよう検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・「かかりつけ医」の現状は、1つの医院、1人の先生による診療ではなく、いくつもの医院または複数人の医者による診療となることが多い。 1つの医院、1人の先生による診療へ移行できるような支援体制があると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画の中で対応していく。

施策10 女性が地域や職場で活躍できる環境づくりを進める

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・目指すべき姿の中で、「男性が積極的に家事を手伝ってくれるため…」とあるが、この記載では、主は女性で、男性は副というイメージになってしまう。 ・「分担」という文言にしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文言の修正にて対応する。

基本目標3 活力に満ち、豊かな心と文化が息づくまち【教育・文化・コミュニティ】

3-1 次代を担う子供たちの確かな学力と豊かな人間性を育む

施策1 豊かな心とたくましく生きる力を持つ子どもを育成する

委員からの質問・意見など	回答など
・自然に囲まれた遊具施設として公園などのハード整備についても明記をお願いしたい。	・ハード整備については基本目標4 施策6に記載している。
・更なる特別支援教育の充実をお願いしたい。	・特別支援教育の充実に対する取組は記載のとおりで、今後も推進を図っていく。

3-2 だれもが生涯にわたって、いきいきと学べる環境を整える

施策4 貴重な文化財を守り、伝える

委員からの質問・意見など	回答など
・波波伎神社社叢の環境整備とは具体的にどのようなことか。	・定期的な環境維持が必要なため保存管理の計画を策定し、その計画に沿った維持活動を実施する。

施策5 文化・芸術活動を活性化し、文化の薫りに満ちたまちの魅力を創造する

委員からの質問・意見など	回答など
・「アーティスト・イン・レジデンス」の意味を解説してほしい。	・「アーティスト・イン・レジデンス」とは、外国人芸術家を一定期間招聘し、滞在していただき創作活動を行うなど芸術活動を支援していくもの。 ・芸術を通して、そこに住む地域の方と交流し、地域の活性化にもつながっていく。

施策6 異なる国や地域の人たちと交流を深める

委員からの質問・意見など	回答など
・現状と課題の中の禅の師「仙英禅師」は市民にはわかりにくいのではないか。	・表現については検討する。

3-3 みんなが常日頃から協力し、助け合える関係をつくる

施策7 地域における人と人との結びつきを強め、人が集い魅力ある地域をつくる

委員からの質問・意見など	回答など
・現状と課題の1番最初の項目に「障がい者」も追加してほしい。	・修正する。

施策9 自ら志を持ち、アイデアを実現し地域に貢献できる人材を育成する

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・「認定NPO法人」制度とは。また、条例個別指定とはどういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人が一般の方や企業から寄付を受けた際の税制優遇が受けられる制度。これを受けするには、市において団体ごとに条例を定める必要がある。 ・現在3つの法人が認定されている。 ・内容が変わるよう文言の修正を検討する。

施策10 移住希望者へ魅力を伝え、あたたかく迎え入れる体制を進める

委員からの質問・意見など	回答など
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の取扱に関する不安（例 管理責任の所在がはっきりしにくいなど）を解消するための市による支援体制や取組の充実を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「空き家バンク」への登録件数を増やすことによって、空き家の賃貸に関する安心感につなげていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・移住するまで、移住直後の支援は大切だが、移住後ある程度の期間までの支援の充実も図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討していく。

*その他分かりにくい表現、表記については、修正、別途注釈を付け解説を加える。